

後立山連峰に聳える端麗な双耳峰 鹿島槍ヶ岳

実施日 2017年9月22日(金)～24日(日)
天候 22日曇り／23日曇り/24日快晴
リーダー 渋谷 京子

参加者 島本陳重、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、徳山敬子、渡邊悦子佐藤聡美
計8名

費用 JR14,260円(新宿起算)🚗2,060円
宿泊19,000円 合計 35420円

タイム 9/22 扇沢登山口(11:25) 休(11:50~11:55)ケルン(12:40~45)休(13:30~35)休(14:10~14:15)休(14:55~15:00)種池山荘(15:35)

9/23 種池山荘(6:18)爺ヶ岳南峰(7:14~20)中峰(7:45~50)冷乗越(8:50)冷池山荘(9:05~10:00 CI・休憩)休(10:35~10:38)布引山(11:10~11:15)鹿島槍南峰(12:10~30)布引山(13:10~15)冷池山荘(14:22)

9/24 冷池山荘(6:00)冷乗越(6:15)爺ヶ岳中峰(7:30~8:00)種池山荘(9:00~9:22)休(10:00~10:05)休(10:45~10:50)休(11:45~11:50)扇沢登山口(12:40)

9 / 2 2 柏原新道登山口で届出を済ませ入山。九十九折りの急坂を徐々に高度を上げて行く。登山道は整備されていてとても歩き易い。目当ての紅葉は残念ながらまだのよう

だ。暫く進むと左下に白い扇沢のターミナルが樹林越しに垣間見える。

振り向けば後立山連峰の蓮華岳、針ノ木岳、鳴沢岳と壮大な山々が聳



え立っている。山特有の雲が沸き立ち、辺りは白く時の経過とともに表情を変えていく。

標高差1100mを4時間掛けて登るわけで背中が汗ばむ。ケルンを過ぎる頃、赤い実をつけたナナカマド、ダケカンバの黄色が我々を迎えてくれた。



アザミ沢の崩壊地を慎重に通り抜け、樹林帯が終わると空が開けて

漸く種池山荘に着いた。外は強風の為、炊事場でSさんが熱々のおつまみ(餃子の皮にトマト、ハム、玉葱、チーズを乗せて焼く)を沢山作って下さり舌鼓を打った。

9 / 2 3 昨夜は風と雨の音が小屋に叩き付け良く寝られなかったが、まずまずの天気。

晴れていればハイライトの鹿島槍が目の前にドーンと見える筈だが、残念!

夏の盛りには可憐に咲いていたであろうチングルマ、一面に今は耄けて朝つゆを纏いこれも又美しく変身している。

爺ヶ岳へ続くなだらかな稜線、見事な紅葉が登山道を埋め尽くしている。



緑のハイマツと白石のジグザグ道を登りつめると南峰に到着。360度の大パノラマは望めない。下って登り返すと中峰!北峰も有りややこしいが中峰が最も高い。記念写真を撮り山頂を後にする。北峰は巻き道なので歩を進める。

ハイマツ帯にさしかかると、なんと雷鳥に遭遇、しかも二度も！親子でついでに癒やされる。冷乗越を過ぎると冷池山荘は近い。

受付を済ませエネルギー補給後、ザックを軽くして鹿島槍を目指す。小屋の横から布引山へ向かう。テント場を過ぎひたすら急登を稼ぐと布引山。ここから更に高みを目指す。標高が増すにつれ風が強くなり汗冷えの身体に堪える。

雲が立ちこめ山頂が見えない。疲れ果てた頃やっとの思いでてっぺんへ・・・

相変わらず廻りは望めず暫く待つことに、諦めて下山開始来た道に戻り山荘へ。途中から天気は好転、休憩で皆で持ち寄り宴会を楽しんだ。

9 / 24 今日ピカピカの晴天、朝食後雲の合間からお日様が顔を出し辺りをオレンジ色に染めた。そういえば4時頃、星が煌めいていた。爺ヶ岳が大きな様を見せている。

来た道に戻るわけだが天気の違いで印象がだいぶ異なる。

昨日よく見えなかった鹿島槍の双耳峰が畏怖堂々として

いる。

歩くにつれ西になんか見たことのあるギザギザ？もしかして劔岳？裏劔のようだ。では隣は立山三山、龍王、その先は薬師？もう興奮状態マックス！！

間近に大きな蓮華岳、針ノ木、赤沢、



鳴沢岳、種池山荘に続いている。この稜線は疲れも忘れ壮大な

景色に酔いしれた。

爺ヶ岳の中峰で360度の大自然を瞳に焼き付け、心に刻んだ。充分楽しんだ頃山頂を後に種池山荘に下りた。

ここからはひたすら下るのみ、事故

は下りの油断した頃に起こり易い。脚もだいたいぶ乳

酸が溜まっている筈、慎重になりすぎて後半のタイムがオーバーしてしまっ

た。でも全員無事下山！何よりです。薬師の湯で3日分の汗を流しビールの美味しかったのは言うまでもありません。

2泊3日の山行に参加された皆さん、



大変お疲れ様でした。

有り難うございました。個人的

には反省点が多々あります。今後活かしたいと思いますので又、ご一緒しましょう！

(記・渋谷 京子)

(写真提供・伊藤 久雄)

